

科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

【思考・判断・表現】

自ら考え、問題解決ができる力の向上を目指す

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の読解力に難のある生徒が多く、「思考・判断・表現」に分類される問題の正答率の低さにつながっている。</li> <li>基本的な計算や方程式の解法などはよくできているが、時間がかかる生徒が多い。基礎基本の定着も課題のある生徒もいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシートを活用して授業を進めている。学びあい活動を充実させている。自分の解法を表現したり、友達の解法をきいたりする機会を増やし、さらに読解の練習を増やしていく。</li> <li>家庭学習の際に、繰り返し学習ができるよう授業プリントなど工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜</li> <li>通年</li> </ul>	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テストで、「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が低い。</li> <li>単元テストにおいて、中間層が多い傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応用問題に対して、学び合いを取り入れ主体的に取り組ませていく。</li> <li>成績に関係なく少人数授業の充実を図り、説明する活動取り組ませていくことで、上位層を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜</li> <li>通年</li> </ul>	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元テストで、「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が極端に低い。</li> <li>単元テストにおいて、中間層が少なく上位層と下位層が多い傾向にある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>応用問題に対して、グループ活動や教え合いを取り入れ主体的に取り組ませていく。</li> <li>習熟度別少人数授業の充実を図り、理解度に応じた課題に取り組ませていくことで、上位層を増やしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適宜</li> <li>通年</li> </ul>	

■主体的・対話的で深い学びに関連して

1年 課題提示の工夫、グループ学習の充実

2年 課題提示の工夫、学びあい学習の充実

3年 課題提示の工夫、グループ学習の充実

■一人一台コンピュータの活用に関連して

1年 例題の解説や反復練習で活用

2年 例題の解説や反復練習で活用

3年 例題の解説や反復練習で活用

